


平成28年度行政事業レビューシート (厚生労働省)

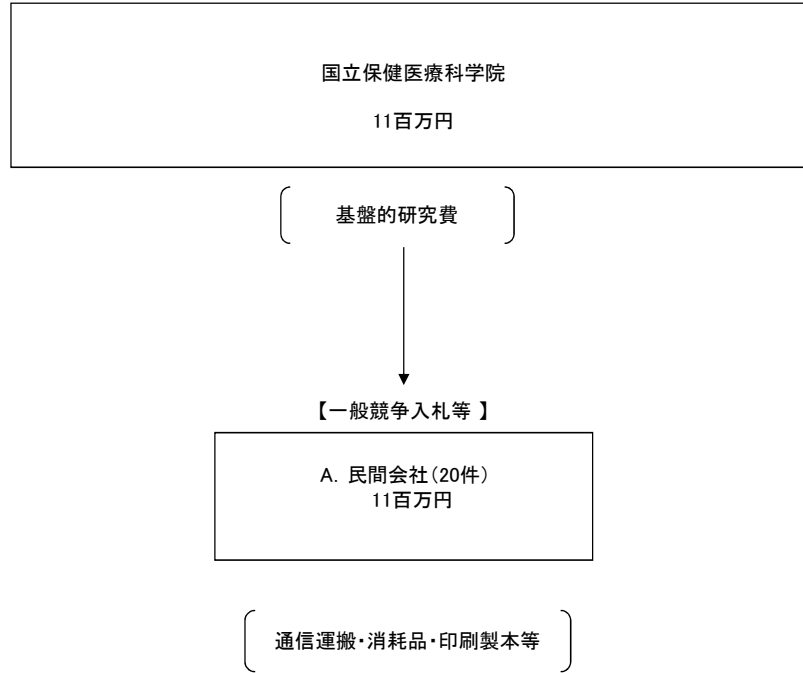
事業名	国立保健医療科学院基盤的研究費			担当部局庁	国立保健医療科学院		作成責任者		
事業開始年度	平成14年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	総務部会計課		川又 功		
会計区分	一般会計								
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-			関係する計画、通知等	-				
主要政策・施策	医療分野の研究開発関連、科学技術・イノベーション			主要経費	文教及び科学振興				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	保健医療福祉サービスに関する基礎的・基盤的研究を行い、国内外における諸分野の動向を踏まえた基礎資料や調査手法の策定などに寄与することを目的とする。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	保健医療福祉サービスに関する ・健康危機管理研究のあり方に関する基盤的研究 ・少子・高齢化社会に対応した健康確保に関する基盤的研究 ・生活環境に関する安全・安心の確保に向けた基盤的研究等に関する基礎的・基盤的研究を行う。								
実施方法	直接実施								
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度要求		
		補正予算	-	-	-	-			
		前年度から繰越し	-	-	-	-			
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-			
		予備費等	-	-	-	-			
		計	11	11	11	11	0		
	執行額	11	11	11					
	執行率(%)	100%	100%	100%					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 28 年度
	科学院が毎年行っている研究課題評価で3.5以上を目標とする。	基盤的研究に係る研究課題評価の点数	成果実績	点	4	3.8	集計中	-	-
			目標値	点	3.5	3.5	3.5	-	3.5
			達成度	%	114	109	-	-	-
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込		
	研究課題数	活動実績	件	6	6	6	-		
		当初見込み	件	6	6	6	6		
単位当たりコスト	算出根拠		単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込		
	X:執行額/Y:研究課題数	単位当たりコスト	円	1,765,901	1,828,478	1,826,751	1,831,833		
		計算式	X/Y		10,595,410円/6件	10,970,873円/6件	10,960,504/6件	10,991,000/6件	
平成28・29年度予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目	28年度当初予算	29年度要求	主な増減理由					
	試験研究費	11							
	計	11	0						

政策評価、経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	政策	施策大目標1 国立試験研究機関の適正かつ効果的な運営を確保すること									
	施策	国立試験研究機関の適正かつ効果的な運営を確保すること(施策目標X I - 1 - 1)									
	測定指標	定量的指標				単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 30年度	目標年度 31年度
		実績値	点	4.1	4	集計中	-	-			
		目標値	平均3.5点以上	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5			
	本事業の成果と上位施策・測定指標との関係										
	<p>保健医療福祉サービスに関する</p> <ul style="list-style-type: none"> 健康危機管理研究のあり方に関する基盤的研究 少子・高齢化社会に対応した健康確保に関する基盤的研究 生活環境に関する安全・安心の確保に向けた基盤的研究 <p>等に関する基礎的・基盤的研究を行う。</p> <p>このように、保健医療福祉サービスに関する基礎的研究を行い研修等に反映させることにより、国立保健医療科学院の目的の達成に資するもの。</p>										
	アクション・プログラムとの関係	改革項目	分野:	-	-						
		(第一階層) KPI	KPI (第一階層)			単位	計画開始時 -年度	27年度	28年度	中間目標 -年度	目標最終年度 -年度
			成果実績	-	-	-	-	-	-		
目標値			-	-	-	-	-	-			
達成度			%	-	-	-	-	-			
本事業の成果と改革項目・KPIとの関係											
-											
事業所管部局による点検・改善											
国費投入の必要性	項目				評価	評価に関する説明					
	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。				○	保健医療福祉サービスに関する基礎的・基盤的研究は国民の健康を守るために必要とされている事業であり、医療費等の軽減にもなるため国費の投入の必要がある。					
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。				○	基礎的、基盤的研究であり、国で実施する必要がある。					
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。				○	科学院の政策に基づく事業として位置づけられ、優先度の高いものとなっている。					
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。				○	一般競争入札を実施し、競争性を確保した。個々の契約が100万円未満のものについては少額随意契約とした。					
	一般競争入札、総合評価入札又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。				無						
	競争性のない随意契約となったものはないか。				無						
	受益者との負担関係は妥当であるか。				-	-					
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。				○	単位当たりコストは、前年度より低下している。					
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。				-	-					
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。				○	事業の適切な遂行について、必要な経費に限定している。					
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)				-	-					
事業の有効性	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。				○	両面コピーを活用している。					
	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。				-	成果実績は現在集計中である。					
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。				-	-					
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。				○	活動実績は見込みどおりである。					
関連事業	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。				-	-					
	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)				○	国立保健医療科学院における調査研究事業に関する経費という点で、国立保健医療科学院運営経費と類似しているが、それぞれ適切な役割分担となっている。 847: 調査研究事業に密接に関係する事務費 849: 調査研究事業 また、他機関もそれぞれの試験研究所において、その所掌に係る各研究領域の調査手法の策定等を行うことを目的とする。					
	所管府省・部局名	事業番号	事業名								
	厚生労働省・国立保健医療科学院	847	国立保健医療科学院運営経費								
	厚生労働省・国立医薬品食品衛生研究所	831	国立医薬品食品衛生研究所基盤的研究費								
厚生労働省・国立社会保障・人口問題研究所	852	国立社会保障・人口問題研究所基盤的研究費									
厚生労働省・国立感染症研究所	860	国立感染症研究所基盤的研究費									

点検・改善結果	点検結果	平成27年度までの研究成果を、住民の帰還がはじまった地域などでの原発事故対応だけでなく放射線健康危機管理事例への対応に関する地方自治体からの技術的支援要請にも活用している。 研究課題については、毎年研究内容の評価を行っており、研究の効果的・効率的な実施に努めている。 発注などの契約手続については、入札や見積合わせにより競争性を確保する等により予算執行の効率化を図っている。				
	改善の方向性	外部委員による研究課題評価の結果を受けて、研究内容の方向性等について更なる改善を図っている。今後も、基盤的研究事業に必要な経費執行を行いながら、更なる見直しを行い経費削減に努めるとともに、各分野における基礎資料や調査手法の策定に繋げていく。				
外部有識者の所見						
行政事業レビュー推進チームの所見						
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
平成22年度	599	平成23年度	546	平成24年度	485	
平成25年度	869	平成26年度	869	平成27年度	880	

※平成27年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)



費目・使途 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)	A.ユサコ株式会社			B.		
	費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
	消耗品	外国雑誌購入	3.9			
	計		3.9	計		0

支出先上位10者リスト

A.	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	ユサコ株式会社	2010401030329	外国雑誌購入	3.9	一般競争入札	2	90.5%	-
2	株式会社紀伊屋書店	4011101005131	外国雑誌購入	2.7	一般競争入札	2	90.2%	-
3	株式会社アールシーエー	2011101048108	ソフトウェアメンテナンス	0.8	随意契約 (少額)	-	100%	-
4	株式会社いづる	9013301001153	クラウドアプリケーション改修	0.7	随意契約 (少額)	-	100%	-
5	株式会社USEN	5010401068812	光ビジネスアクセラNEXT利用	0.5	随意契約 (少額)	-	100%	-
6	堀内電機株式会社	5012701000933	OA機器購入	0.5	随意契約 (少額)	-	100%	-
7	ナミキ商事株式会社	3011101015528	消耗品購入	0.4	随意契約 (少額)	-	100%	-
8	アズサイエンス株式会社	8100001013784	データロガー購入	0.3	随意契約 (少額)	-	100%	-

